

物理学史資料委員会第 77 期事業報告

物理学史資料委員会 第 77 期事業報告（2021 年 4 月～2022 年 3 月）

委員会の新規受け入れ資料

・霜田光一氏（レーザー分光学）、橋爪夏樹氏（統計力学）の資料を受け入れ、他の未整理分資料と共に整理を行うこととした。

年表

・2012 年から 2016 年までの年表の確認が終了した。委員会承し、公表することとした。形式は以前と同様とし、原稿が作成後に事務局に送って最終版として業者に依頼することとした。今後は単純作業化できるようにし、『会誌』から適宜情報を拾ってフォームに落とし込むように準備したい。

『物理学史資料委員会ニュース』

・『物理学史資料委員会ニュース』No.4（2022 年 2 月 16 日）が作成され、ウェブ上で公開された。

https://www.jps.or.jp/activities/docs/gakushi_news4.pdf

学会創立 150 周年関連の活動

・『大学の物理教育』上で関連の連載が開始した。

物理学史資料委員会、大学の物理教育編集委員会「連載「日本の物理教育 150 年にあたって」、28 巻 1 号（2022 年）、p.19

並木雅俊「東京数学物理学会に至る変遷」、28 巻 1 号（2022 年）、pp. 20-24

・オーラルヒストリー

2022 年度中に試行的に実施する案を作成した。

・下記の事業についても実施案を検討した。

物理学史資料に関するデータベースの構築

重要物理学史資料 150 選（仮）の選定等

日本の物理学の通史、学会史

重要論文集

物理学用語の変遷の追跡